Acrylic/PVC plastic welding rod,有限会社ティークラフト,R17-XX-YY-ZZ

安全データシート（SDS）

1. 化学品及び会社情報

- 製品名: アクリル/PVC プラスチック溶接ロッド（Acrylic/PVC plastic welding rod）
- 製品番号: R17-XX-YY-ZZ 他
- 推奨用途: 破損したアクリル/PVC 部品のプラスチック溶接修理（業務用）

供給者の会社名称、住所及び電話番号

- 供給者の会社名称: 有限会社ティークラフト
- 住所: 〒444-2134 愛知県岡崎市大樹寺 2 丁目 17 番地 3
- 担当部署: プラスチックリペア事業部
- 電話番号: 0564-28-5319
- 担当者: 田中

2. 危険有害性の要約

- GHS 分類:
  - 物理化学的危険性: 分類できない（常温では危険性なし）
  - 健康に対する有害性: 分類できない（常温では危険性なし。加熱時に発生する塩化水素ガスや煙霧が上気道を刺激するおそれあり）
  - 環境に対する有害性: 分類できない
- 絵表示またはシンボル: 該当なし（Not Applicable）
- 注意換気語: 該当なし
- 危険有害性情報: 常温での使用において特段の危険性はありません。加熱時（218℃以上）には塩化水素や一酸化炭素等の有害な分解ガス・煙が発生します。
- 注意書き: 常温時は特になし。高温作業時は適切な換気および保護具を着用すること。溶接時に煙霧を吸い込まないこと。

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別: 混合物
- 成分情報:
  - 塩素化ポリ塩化ビニル: 含有量 0 〜 99%、CAS 番号: 68648-82-8
  - ポリ塩化ビニル（エテン、クロロホモポリマー）: 含有量 0 〜 99%、CAS 番号: 9002-86-2

4. 応急処置

- 目に入った場合: 溶接中に発生する蒸気から刺激が生じた場合は、換気の良い場所に移動すること。刺激が続く場合は、医師の診察を受けること。コンタクトレンズを着用している場合は取り外すこと。
- 皮膚に付着した場合: 常温の製品では特になし。熱いポリマーと接触した場合は、冷たい水で皮膚を急速に冷やすこと。石鹸と水で洗い流し、医師の診察を受けること。付着物を無理に剥がそうとしないこと。
- 吸入した場合: 溶接中に放出される蒸気やガスを吸入して刺激等を感じた場合は、換気の良い場所に移動させること。症状が続く場合は医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合: 通常の使用における曝露経路としては考えにくい。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤: 水、粉末消火剤、泡消火剤。
- 消火手順: 無許可の人員を退避させること。火災により塩化水素等の有毒な熱分解生成物が生成されるため、フルフェイス部分が減圧または陽圧モードで動作する自給式呼吸器（SCBA）を含む完全防護服を着用して消火にあたること。
- 特有の危険有害性: ポリ塩化ビニル系材料は外部熱源なしでは発火後も燃焼し続けにくい。425°F（218°C）を超える温度では塩化水素の発生が起こる。

6. 漏出時の措置

- 漏出時の対応: 固体状のため特別な予防措置は必要ない。掃除して容器に入れ、廃棄物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い: 取扱中に静電気が蓄積することがあるため、機器の接地（アース）を行うこと。プラスチック溶接時に発生する蒸気や煙を吸い込まないこと。換気の良い場所で使用すること。
- 保管: 100°F（37.7℃）以下の乾燥した涼しい場所に保管すること。火気や熱源を避けること。

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 / 許容濃度: 設定なし

- 設備対策: 溶接が行われている場所では、室内および周囲の換気を制御して煙霧レベルを低く抑えること（局所排気装置の使用等）。静電気の蓄積を防ぐために装置を接地すること。
- 保護具:
    - 呼吸用保護具: 煙やガスが気になる場合や換気が不十分な場合は、有機ガス・塩化水素対応の国家検定合格品（または NIOSH 認定）の呼吸用保護具を着用すること。
    - 手の保護具: 溶融した高熱樹脂の接触による熱傷、および高温になる溶接トーチ先（ノズル周辺）に直接触れて火傷をするのを防ぐため、加熱・溶融作業時は耐熱手袋を着用すること。
    - 眼・面の保護具: 安全メガネ（またはゴーグル・顔面シールド）を着用すること。
- 衛生対策: 優れた個人衛生を使用する。作業場で食べ物を消費したり保管したりしないこと。喫煙や食事の前に手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観: 黒いプラスチックストリップ（固体）
- におい: 無臭またはわずかな臭い
- pH: 利用不可
- 比重: 1.3 ～ 1.5 g/cc
- 溶解度: 水に無視できる（不溶）

10. 安定性と反応性

- 化学的安定性: 通常の保管および取扱い条件下では室温で安定。
- 避けるべき条件: 温度が 425° F（218°C）以上になるのを避けること。
- 混触危険物質: ポリ塩化ビニル系材料は、高温でアセタールまたはアセタールポリマーと接触してはならない。
- 危険有害反応可能性: 危険な重合は起こらない。
- 危険な分解生成物: 一酸化炭素、二酸化炭素、塩化水素。

11. 有害性情報

- 毒性情報:
    - 加熱した PVC からのフュームの吸入により、ラットにおいて間質性浮腫や気管支・肺胞内出血を引き起こしたとの報告がある。

    - 眼に対してはヒュームによる刺激性のおそれがある。高温時の溶融物は皮膚熱傷を引き起こす。発がん性ではない（通常の成型・溶接時の知見）。

12. 環境影響情報

- 生態毒性: データなし。水に不溶であるため水生生物への影響は低いと予想される。

13. 廃棄上の注意

- 廃棄方法: 廃棄物は埋め立てまたは焼却処理が可能。国、県、および地方自治体の規制（日本の廃棄物処理法等）に従って適切に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

- 輸送規制: 非該当（アクリル/PVC プラスチック、ハザードクラス：規制なし）

15. 適用法令

- 労働安全衛生法（安衛法）: 固体の安定した高分子化合物（ポリマー）であるため、通常、安衛法の「通知対象物質（表示・文書交付義務）」に該当しない。
- 化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）: 非該当
- 消防法: 固体の合成樹脂（プラスチック）であるため、危険物（第 4 類など）には該当しません。ただし、一定量以上をまとめて保管する場合、自治体の「火災予防条例」に基づく「指定可燃物（合成樹脂類）」に該当し、保管量の届出や防火上の制限を受ける場合があります。

16. その他の情報

- 参考文献:
    - パーツ供給元提供 SDS
    - GHS Hazcom 2012 / GHS 分類ガイダンス
    - JIS Z 7253 : 2019
    - JIS Z 7252 : 2019

責任の限定について

この安全データシート（SDS）は、部品供給元から提供された情報等に基づき、JIS Z 7253 に準拠して作成しています。記載内容は現時点で入手できるデータに基づくものであ

り、将来の知見によって変更される場合があります。また、通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載した GHS 分類区分の算定根拠は、現時点における日本公表データ（NITE）です。